

●障がい者の自立支援を学ぶ！
～支援する側・される側の気持ち～

8月、福祉施設体験として別府市にある「NPO法人自立支援センターおおいた」を訪問しました。

ここでは ①重度障がい者への自立支援 ②ユニバーサルデザイン社会の実現 ③バリアフリー観光、旅行の普及を理念に掲げ、障がいがあっても介助者を交えて仕事をしたり、旅行に行ったり温泉に入ったりと「出来ることをやる」のではなく「やりたい事をやる」というスタンスで様々なことに取り組んでいます。

そして、この施設の特徴の1つが障がい者だけではなく妊婦や高齢者など社会生活において不便がある方の日常を幅広く支援する考えを持っていることです。実際に参加者も、車いすや白杖、そしてベビーカーやシニアカートを使って、不便さを体験することで誰もが暮らしやすい社会を実現することが大切であると感じました。

ところで、「エンパシー」という言葉をご存じですか。シンパシーと似ていますが「同情」ではなく「共感」という意味です。人権問題を考える際に、同情ではなく相手に寄り添う、相手の立場に立つという言葉が聞きますが、それがエンパシーです。ここでは、支援する側もされる側もシンパシーではなく、エンパシーの気持ちで接していることを、お互いが楽しそうに笑っている姿を見て感じました。

9月は障害者雇用支援月間です。国の動向では2026年7月から障害者法定雇用率が引き上げられます。障害者雇用と聞くとハードルが高いイメージもありますが、エンパシーの考えが広がることで、自立につながり、結果として障害者の雇用支援が進んでいくのではないのでしょうか。

最後に今回の研修に参加された方の感想を紹介します。

・私は元々障がいなど自分に関係ない事だと思っていた部分があったが今回障がいがあっても人生を楽しもうとする姿勢にとっても感動しました。これからは他人事ではなく「皆が楽しく」できるような社会への活動を知ってみたいです。障がいがあるからと諦める理由にしない気持ちに感動した。

・とても充実した設備で介助される方もする方も明るい方ばかりで生き活きしてみえました。今までとは違った目線で考えが出来ました。実際は大変な事が多いかと思いますが前向きで私も頑張ろうと思える講演でした。

・障がいは生まれつきある人だけでなく途中で急な事故で障がい者となることもあることがわかった。自分や自分の家族などもいつ体が不自由になってもおかしくないから、バリアフリーや障がいについて知っておこうと思った。年齢も不自由さとは関係なく、皆が過ごしやすいようになるいいと思った。

・「自分らしく」・・・といっても何をどうしたらいいかわかりにくいところがあるが、自分が何をしたいのかを見つけることが大切だと改めて感じました。



●危険と隣り合わせ ～SNSと付き合うということ～

離れていても人とつながり、豊富な情報が入手可能なSNS。便利で使い勝手がよい反面、「人権侵害や犯罪」に発展してしまう危険な一面があります。

そこで、SNSから自分や子どもたちを守るため、知っておきたいことを紹介します。

(1) フェイク情報に注意！～子どもとスマホの関わり～

子どもの周りには有害な情報が多く存在します。親と子で情報共有が可能な時代は、有害な情報については親が取り除くことが可能でしたが、今は子どもが有害な情報と遭遇しても親が気付きにくい状況となっています。アプリなどで仲良くなった人とリアルする（実際に会う）ことになり、会ってみると年齢や性別がまったく違っていったことなどはよくある事例です。これは、アプリ上の世界感に没入し、相手の人物像を勝手にイメージしてしまうこと、さらにはフェイク画像を簡単に作成・送信できることが要因にあるようです。

このような事例においては、最悪な場合として、脅迫やストーキングに発展した例もあります。そして、その背景には、親の関与が少ない環境下でスマホの使用が可能な状態を現代社会が作り出している点にあります。また、子どものスマホ依存による健康面への弊害にも留意することが必要です。

(2) サイバースカッドに注意！

インターネット上の1つの意見に流され、最終的には大きな潮流となることを「サイバースカッド」といいます。サイバースカッドを誘発する現象には以下の2つがあります。

① フィルターバブル

検索サービス（機能）を利用する際、検索者の所在地や興味・関心、検索履歴をもとにAIによる判断結果が表示されることがあります。SNS等で、「あなたへのおすすめは〇〇」というような表示を見たことはありませんか。このように多種多様な情報が入手できず、特定の情報だけしか得られない閉ざされた状態に陥いることをフィルターバブルといいます。

② エコーチェンバー

自分と似た意見や思想を持った人々の集まる空間（SNSなど）内でコミュニケーションが繰り返され、自分の意見や思想が肯定されることで、それが世間一般における正論である（間違っていない）と信じ込む現象をエコーチェンバーといいます。結果として偏った考え方に陥りがちになるので注意が必要です。

ネット世界やSNSでのつながりは、「広がる世界」をイメージしがちですが、SNSを使うことで特定の意見への偏重や閉ざされた空間に陥り、自分（達）の発言や思想だけが正しいという誤った認識が生じることで他者を傷つけ、人権侵害につながる危険性があります。さらには、コミュニティ内の攻撃が自分自身に向け被害者になることもあり得ます。便利だからこそ、その対極にある危険性を認知しスマホやSNSとのかかわることが大切です。

≪「第2回北三人権講座（講師：黒田可奈子さん）」より≫

SNSでもしてはいけないこと

具体例 ⇒



などがあります。
適切に利用しましょう。

●識字について考える ～ 9月8日は国際識字デー ～

「識字」。

「文字や言葉を読み書きし、理解できること」です。

識字は、義務教育など教育の充実によりほとんどの人が学習しているものですが、過去には、差別や貧困などから学校に通えず学習できなかった人もいます。このため、日常生活に支障をきたし、安定した仕事に就くことなどが保証されなかったこともあります。

こうした中、1960年代から全国各地で文字を学ぶ運動として「識字運動」が展開され、識字を学習できなかった人たちに向けた「識字学級」が開設されました。識字を学ぶことは、単に文字の読み書きを学ぶだけではなく、意思疎通のためのコミュニケーションツールが構築され、他者・情報・世界などの理解へとつながる人間社会の形成に寄与するものです。

先述したとおり、日本では識字を学べる環境が整備されていますが、世界規模でみると今も紛争や貧困等により識字を学べない人も存在するなど、「教育を受ける機会」に差が生じています。

すべての人たちに「教育を受ける機会」を平等に与え、文字の読み書きができる状態を増やすことが、環境に変化をもたらし、将来の貧困からの脱出を促すとともに、世界経済そのものの発展にもつながります。

「教育を受ける機会」がある環境のありがたみを感じ、できることを考えてみてはいかがでしょうか。

●「ちむぐりさ」という言葉～北3人権映画祭を鑑賞して～

先日、両集会所で「ちむぐりさ～菜の花の沖縄日記」というドキュメンタリー映画を上映しました。タイトルの「ちむぐりさ」とは沖縄の言葉「ウチナーグチ」で「あなたが悲しいと、私も悲しい」という意味があるそうです。一見すると同情のように聞こえる言葉ですが「ちむぐりさ」には自分の悲しみとして一緒に胸を痛めることという意味が加わっています。同情よりも共感に近い言葉です。同情は主に感情表現ですが、共感には他者の感情を共有し応答するという動作表現も含まれる点が同情との相違点です。映画の主人公は石川県から一人で沖縄のフリースクールに通う少女。フリースクールや沖縄で、悲しみや苦しみだけではなく、楽しみや喜びもウチナンチュの視点に立ち、理解し共有していく。そんな姿に「エンパシー＝共感」を感じる作品です。

人権問題を考える際、同情も必要かもしれませんが、相手の視点に立ち理解し、共有し応答することが重要です。そしてそれは、悲しみや苦しみだけでなく嬉しいことや楽しいことも一緒に共有できる、そんな共感力を高めていきたいものです。

●集会所ダイアリー



ビッグフラワー製作



小・中学生弁当作り



寄り合いサロン交流

集会所イベントカレンダー

●北友田3丁目地区集会所●

9/11 (木) 北3ワークショップ
「アロマオイルづくり」

- ◇時間: 19:00~20:30
- ◇講師: 野口 ゆみ さん
- ◇材料費: 800円
- ◇定員: 10名程度



★北3スマホ教室★

講師: 横尾 正治 さん
(パソコン・フォトインストラクター)

●「初級編」●

- ◇日時: 9月9日(火)~11日(木)
19:00~20:30
- ◇内容: インターネット検索、用語解説 など
- ◇テキスト代: 1,000円程度
- ◇対象: 文字入力等、基本操作ができる方
- ◇定員: 10名程度

●「中級編」●

- ◇日時: 9月24日(水)~26日(金)
19:00~20:30
- ◇内容: アプリのダウンロード、共有の方法 など
- ◇テキスト代: 1,000円程度
- ◇対象: 文字入力等、基本操作ができる方
- ◇定員: 10名程度

※いずれか一つの受講も可能です。
スマホ及び筆記用具をご持参ください。

●京町地区集会所●

9/17 (水) おくの木ワークショップ
「マクラメ製作」

- ◇時間: 19:00~20:30
- ◇講師
マクラメギャラリーわたすげ
穴井 七生美 さん
- ◇材料費: 1,100円
- ◇定員: 10名程度
- ◇準備物: はさみ



9/27 (土) おくの木ワークショップ
「オリジナルヘアゴムづくり」

- ◇時間: 19:00~20:30
- ◇講師
系作家 浜崎 愛 さん
- ◇材料費: 500円
- ◇定員: 15名程度



同時
開催

いまいしこども食堂&地域食堂

- 高校生以下: 無料 大人: 200円
- 時 間: 11:30~14:00くらいまで

【定期開催】

- 京町生きがいサロン 毎週火曜日開催
- いまいし元気クラブ (週一通いの場)
毎週金曜日開催 (8/22は除く)
- 「未来へチャレンジ」こども育成事業
 - ・未来創生塾(小学生) 毎週火・木曜開催
 - ・未来創生塾(中学生) 毎週水曜開催
 - ・小学生チャレンジ教室 不定期開催
- ヨガ教室 第1・3火曜日開催

※詳細はHPをご覧ください。



京町地区集会所(おくの木センター)

■〒877-0051 日田市京町51-5
■TEL/FAX 0973-23-4620
■Mail: takase@cyber.ocn.ne.jp



北友田3丁目地区集会所

■〒877-0078 日田市北友田3丁目2531-39
■TEL/FAX 0973-23-6920
■Mail: kitasan@city.hita.lg.jp